

牧野井のぼん

北牧一雄さん75歳・馨さん70歳（養父丘在住）

△その1▽

1992. 11. 1号

◇…市長という激務を長く務めて引退され、自宅で静養しておられるところをお伺いした。奥さんと二人、こもこも語る昔ばなし……………◇

牧野に生まれる

。私が生まれたのは一九一七年（大正六年）七月二十五日、天神祭の日だ。一カ月前にはこの辺は大水害があって、養父、上島、下島がぜんぶ浸った。うちのある養父の山へ大勢の人が逃げ込んで、うちでも炊き出しをしたらしい。牛連れてきた人もおったらしいが、わしは何せ生まれる前やからよう知らんけど。

△長男ですか▽

。うん、長男です。

△兄弟は何人ですか▽

。八人兄弟。今六人残ってる。

△小学校は、今の殿一の所にあった牧野小学校？▽

。そうそう。牧野尋常高等小学校。一年生の時から歩いて通うたもんや。

△だいぶかかったでしょう▽

。普通に歩いて四十五分かかりますねえ。私、殿一で十二年間勤めましたから、大人が歩いて四十五分。

△今ならバイクか車ですね。昔の人はよく歩いたんですね▽
。まだ御殿山という駅はなかったし、外に方法ないから、しょうがなかった。藁草履はいて、よう歩いた。

畑ばっかり

。その頃、片笠神社から招提村まで、家一軒もなかった。

ぜんぶ畑でね。

・田んぼと畑と。

。それが今では続いてしもたな。京阪電車が単車でね、運転台が一段下になってた。入口には鎖がかかっとる。ドアがないんだよ。

正月には「八幡さん参り」というて石清水八幡宮へ参ったんだ。その時電車が鈴なりでね、落ちそうなんだよ。（笑）市電みたいなもんで、スピードがあまり出とらんからな。駅というのも、市電の駅みたいで、プラットホームはなかった。



△安全地帯みたいなの……▽

○そう。それで改札も何もあらへん。電車に乗ったら車掌が回ってきよる。駅の位置も、今よりもう少し北にあった。

△穂谷川を越えて、踏切よりまだ北？▽

○そうそう。その辺だ。

夜は真っ暗

△家に電気ついてました？▽

○電気はね、私の親父が特に金を出してつけてもらったんです。しかし子供の頃はなかった。ランプでね。関西医大は女子医専と言ったけど、女子医専に寄宿舎ができてから線を引っ張ってついたぐらいで、家からちょっと先の家は長い間

つかなかったな。

△夜なんか真っ暗でしょう▽

○もちろん。どっか行くのも

両側とも竹藪で、しょうがないから手を広げて歩いた。(笑)

竹藪の中に突っ込むからな。

(笑)

・昭和二十年頃だっけそうでしたよ。公民館の横のそこみたいに竹藪ばかりでした。

○外灯なんかついたのは戦後十年ぐらいしてからかなあ。

花池で泳いだ

△子供の頃の遊びは？▽

○コマ回しとかベツタン、バイ遊び。バイを回してチンチンチンって飛び出させる。出たら負けなんだねえ。泳ぎはね、ため池とか野井戸、そんなとこばかりで泳いでたね。

△野井戸の「井戸」って、池のこと？▽

○いや、田んぼの横に井戸があるんだよ、たいてい。

△井戸って、どんな……▽

○かなり大きな井戸だよ。そこから水を田んぼに入れるわけ、夏なんか冷たいんだよね。井戸だから。

△くむ井戸？ 水をためておく井戸？▽

・ためておくって言うよりも、湧いてたんでしょ。

○湧いとる、湧いとる。

・湧いて、それを足で踏んで水車みたいなのを回して、水が田の方へ入る。それは昭和二十年代でもあったと思いますよ。(小学館『日本国語大辞典』によると、「井戸」は「井」

と同じで、「泉や流水から、水をためてくむ所」とある)

○すぐそこに花池ってあるけどね、あそこは今はホテイ草がはびこって水面も見えないぐらいになっけるとるけども、きれいな水だったよ。あそこで僕らは泳ぎを覚えて、しょっちゅ

う泳いどったね。まあ、池の半分ぐらいは菱があっただけだね。菱のところへ行ったら足にまきついて危ないいうて、行くなと言われてたな。それが、女子医専ができてから、女子医専の下水が池に流れ込むようになったんや。いっぺんに濁ってしもて泳げなくなった。それまではきれいな水で、年に一回、ちようど十月十五日が村祭だから、祭の前に水を出して魚とりをした。

△大きいのいてました？▽

○大きいのがいとったね。

・鮒でしたね。

○鮒、鯉、ナマズ、鰻、蟹、エビ、いろんなのがいとった。

兵隊ごっこ

△奥さんはどうでした？▽

・私の実家は京都府の大江町だったんですよ。またこと違いますけど、遊びいうたら兵隊ごっこ。(笑)兵隊ごっこいうたら、男の子の遊びだったんですよねえ。私はおてんばやったから、男の子と「突貫！進め！」て……。 (笑) 田んぼを走



り回って、夕方になったらみんな寄ってきてね。リレーしますねん。ヨーイドンとか。それから縄跳びだとかケンパだとかまりつきだとか、すごく巧緻性が養われるような身体を動かす遊びが多かったですね。おじゃみとかね、懐かしいですわ、あの遊びが。

今でもおてんばだから、バイクに乗ったり、自転車の後ろに子供をのせたりできますけどねえ。今の子はああいう遊びしませんものね。

○図書館でなもんはぜんぜんなかったしね。映画館もたぶんなかったような気がするな。娯楽の場所としては枚方温泉があった。風呂に入ってチャンバラ劇見て子供は五銭、大人は十銭。

△今のヘルスセンターみたいなもんですねえ▽

○そうそう。枚方温泉は銭湯やったけど、最初はチャンバラ劇で、それが人件費が高つくつといたので、映画にかわったんかなあ。しかし、牧野は遊び場は何もないし、飲食店も一軒もなかった。うどん屋が一軒あったかな？

△駅前の、今パン屋してる田中さんはあったでしょう？▽
もちろんなかった。

よく歩いた

○一之宮(片埜神社)の横の道が「前島街道」というてね、

淀川の前島の渡し舟につながった。高槻へ渡る渡しだ
た。

△今の駅からのバス道路は昔はなかったんですね▽

。あの辺は山だった。細い細い道があっただけで、車はも
ちろん通らへんかった。それが招提まで続いた。

・招提の人も長尾の人も、皆一本道を歩いて牧野まで出
てきましたよ。

。うん、歩いて出てきてた。(笑)

△昔の人はよう歩きましたねえ!▽

。しかし、牧野の駅で乗る人はぜんぶ知ったな。

・知ってました。毎朝同じ人と顔合わせてたから。だから
あの頃の百倍ぐらいになったん違うかなあ、乗る人が。(笑)

。それから歯科医専が女子医専に遅れてできて、初めて鉄
筋の建物ができただけやなあ。あれは大林組が作って、監督
は髭を伸ばした人やった。

遠距離通学

△小学校卒業の後は?▽

。中学校は普通は四条畷なんだけどね、僕は四条畷行きた
かったんだけど親父が行かしてくれなんだんや。親父は自分
が教師だったから俺まで教師にさそうと思って、ほんで天王
寺師範の付属小学校の高等科へ入れよかったわけや。

△うわあ遠い!▽ (笑)

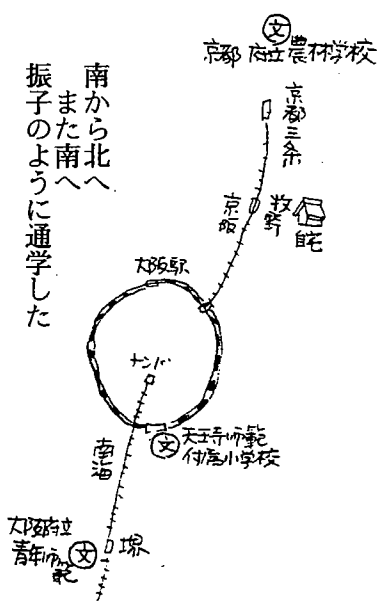
。京阪の蒲生という駅で降りて環状線(当時は城東線と言
っていた)の京橋までだいぶ歩くんだよ。京阪の京橋駅はま
だなかった。城東線もまだ汽車が走ったが、それで終点
の天王寺まで乗った。遠かったよ。(笑)

△それで、高等科の後は?▽

。高等科一年の時に親父が死んだんだよ。で、教師にあま
りなりたくなかったんだよ、俺は。(笑)それで今度は反対
に、京都の府立農林学校に行ったんだよ。

△えー!! (笑) それはどこですか▽

。京都の下鴨にある。植物園の隣で、今の府立大学。これ
もまた遠かった。(笑)まず京阪に乗って、中書島から市電
に乗ったこともあるし、稲荷から市電に乗ったこともあった。



稲荷から市電に乗ると京阪電車が一区だけ助かる。ということは、月に一円助かる。一円という金は貴い金でねえ。

うどんがねえ、五銭か四銭だった。新京極なんかは三銭で売った。だから一円はかなりの金や。一円もうけるためにちょっと早く起きて、三条や四条まで乗らずに稲荷で降りて市電に乗って京都駅まで出て、京都駅から植物園まで市電に乗った。市電は均一料金だし、定期やったからどれだけ乗っても乗り換えてもいっしょだった。均一料金は六銭だったんだが、中書島だと特別区で十銭かかるわけだ。

教師になる

△それで農林学校は何年間通ったんですか▽

○農林学校は高等科卒業して三年。卒業して、やっぱり嫌いだっただよ、教師になるのが。卒業した後高等農林に行きたかったし、それからあの当時柔道をかなりやってたから、武専^{ぶせん}あたりも引き抜きにきよった。

△武専？▽

○武道専門学校。

△そんなんがあるんですか▽

○いろいろ勧誘あったけど、武専なんてそんな危ない所へ行ってくれるなって母親がとめるし、高等農林も他府県にあって高くつくしね、親父がおらへんからね、多くの弟妹かか

えて、結局金がかからんということ教師にならんとしようがないという結論に達して、それで今度また大阪へ帰ってきた。大阪の青年師範……。

△それはどこにあるんですか▽

○堺に。

△堺!? またまた南の端に▽(笑)

○これは二年間だけど、一年間通うて一年間寮生活をした。

△その師範学校は今は何になってます?▽

○今は府立大学。

△今度も府立大学ですか▽

○私は京都の府立大学と大阪の府立大学と両方出てるわけや。(笑)名簿も二つある。(笑)

△それにしてもなぜ農林学校に行ったんですか▽

○家は畑と田んぼは少しだけあったけどねえ、それで食べるような状態じゃない。ただ、農業関係の指導者^{しどうしや}を志しとったわけだ。技術指導とか農村青年の指導者を志しとった。

△青年師範を出たのは何年ですか▽

○昭和十三年です。支那事変の始まった翌年です。

△卒業して先生に?▽

○それからずっと先生や。その間戦争に引っ張り出されたけど。

△最初はどここの学校でした?▽

。友呂岐ともろぎいうて香里園かろいんのこの学校。今寝屋川市ねやしがわしになってるけどね。寝屋川北小学校のある場所。四月にそこに赴任して、十二月にもう戦争せんそうに行った。

教組を結成

△中国へ？▽

。満州へ。十七年に帰ってきた。それで復職して、まあ当時の国是こくぜいに合うた、よい教師だったと思うてる。真面目まじめな。しかし敗戦たいせんによって、すっかりわしの考え方が変わった。大教組だいきょうぐみ(大阪府教職員組合)結成にひと役こうて、それから四年間組合の本部で専従せんじゆやとったかな。

△組合っていつ頃できました？▽

。昭和二十一年に青年学校の教員組合、旧制中学の教員組合、小学校の教員組合、いろいろでけとった。わしは青年学校の教員組合の副執行委員長ふくぎんぎやうしやうやった。それが二十二年に大同団結して大教組だいきょうぐみになって、わしは中執ちゆうしつで組織部長そくしやんぶちやうだったかをやとったわけや。

(続く)

牧野井のぼる

北牧一雄さん75歳・馨さん70歳(養父丘在住)

△その2▽

えらい田舎やなあ

△奥さんも先生をしてはったんですね▽

・私は、さっき言ったように、京都府の大江町出身です。

舞鶴と福知山の中間ですね。女学校は福知山女学校で、その

後京都の女子師範に入りました。

△それはどこでした？▽

・丹波橋にありました。今は附属小学校ですか？

△京都教育大の？▽

・はい。私らの時はその寄宿舎に入って勉強しました。

そこを卒業してから二年間だけ、故郷の、大江山のふもとの小学校に勤めました。それから昭和十九年にいとこの世話でここへ来て、それから寝屋川の学校へ勤めて、しばらくしてから枚方市まいがたしにずっと三十年間勤めました。

△まあ長い間！▽(笑)

・主人と歳は五つ違いですけど、子供の頃の環境はちょっと違います。

△大江町と枚方と較べてどうですか▽

・大江町は今は過疎の小さな町ですけどね、向こうからこちらへ来た時、「えらい田舎へ来たもんやなあ」と……。

(笑)

△今、大江町の人口は？▽

・五、六千人でしょうかねえ。ただ、その頃は町村合併前で河守町だったんですけど、宮津と福知山をつなぐ街道筋の宿場町だったんです。だから昔から開けてました。

△当時、枚方も枚方町でしたもんね▽

・そうですねえ。この辺は枚方町との合併はまだで、殿山町の養父村でした。ずっとこっちの方が田舎だったです。それが今は逆転してしまいましたよ。

未亡人覚悟で

△奥さんは、何でこっちに来られたんですか▽

・昭和十七年に師範出て、十八、十九と田舎の学校にいた時は空襲もなかったですわ。それでも私は京都の師範にいたでしょう、縁談があった時に、ここやったら京都や大阪に近いですわね。京都や大阪に近い所に行きたいという、念願みたいなものがありましたよ。

どうせここへ来て主人と結婚しても、再召集で応召したらまた一人になるかわからへんと思って、未亡人になっても学校の教師だったら続けられるから、田舎で勤めるぐらいやったら京、大阪に近い所で勤めた方がましやというので、もう主人の戦死覚悟で来ましたねえ。(笑)

そしたら幸いに敗戦になったために死ななくてすんだということですよ。私らの同級生は、結婚しないままの人、結婚しても主人に死なれて未亡人になった人、再婚した人、再々婚の人とかいろいろですよ。一回だけの結婚ですつときてる人は少ないくらいですよ。お友達の中には、将校さんと結婚して満州に行つて、敗戦で引き揚げてきた人とか、戦死されて一人で帰ってきた人もいてはりますしね。

買物は大阪

△それで、大江町より田舎の牧野に来て、買物なんかどうしてました？▽

・ちょっとした買物も大阪へ出ました。靴とか服買いに行くのも環状線の天満まで行つてました。牧野に初めて八百屋の店ができたのが戦後でね、今のメルカード牧野の所の岸本さんの店ですわ。それまでは行商ですわ。千林や森小路の辺りから行商に来てました。おばさんが魚を箱に入れてかっいで……。

パーマ屋さんも一軒ありませんでしたから、私らはパーマあてるの……

。パーマみたいなもんは戦後ちがうんか。

・ありましたよ。大阪の浮田町にパーマあてに行っただけど、炭持って行った。(笑) 電気がないから炭でこてを焼いてパーマあてるの。それから寝屋川北に勤めてる時、大阪の梅田新道でパーマあててもらってたら停電になって(笑)、途中であてられんようになってまた外して、パーッと帰ったことがありました。(笑) とにかく、大阪まで出なかったら何もできませんでした。まあ、当時パーマあててる人いうたらあまりいなかったですけどね。(笑)

△最後はパーマはおこられましたね▽

・そうです。「パーマネットに火がついて、みるみるうちに禿頭……」

真冬の玄界灘を渡る

△兵隊にとられて満州に行ったということですが、兵種は何だったんですか▽

。輜重四連隊、ということは、兵站ですな。歩兵とかの攻撃的な任務と違って、兵糧、弾薬などを輸送する仕事ですわ。

△どこに入営したんですか▽

。堺。堺に二十日いて、それで十二月三十日に大阪から船

に乗った。

△えっ、年末に!?▽

。だから正月は玄界灘だった。貨物船だった。貨物船が皆徴用されて、軍に使われてた。

△どこに着きました?▽

。朝鮮の羅津(ナジン)。寒かったなあ。寒かった。冷蔵庫に入ってるようなもんですよ。船の中の寝てるころの鉄板が、真っ白だった。それでね、便所もねえ、貨物船にぎょうさん乗ってるから足りないんで、甲板に仮設の便所作ってるんや。小便も糞も凍って山になっとったな。それで船がギー、ギーッと揺れるんですよ。みんな酔うてしもた。正月やお神酒もお雑煮も出たけど、それどころやない。

上陸した羅津がまた寒い所でな、防寒用具は向こう行ったら渡しよったけどね、行った時は内地と同じかっこうですかな。寒かったなあ。靴が下へ凍りつくような感じやったなあ。

△満州はもっと寒いでしょ?▽

。零下五十度ぐらいのとも行っただなあ。

△ほう!▽

。今日はあったかいなあ、手袋いらんなあって見たら、零下十五度。そんなやった。(笑)

△二年半ぐらい行ってられたんですね▽

。中国にも行ったし、最後はフィリッピンやった。

地雷は怖い

△激しい戦闘もありました？

。中国ではあったねえ。満州ではほとんどなかったねえ。地雷によくやられる。あれは怖いな。前へ進まれへんな。どこに伏せてあるかわからん。

馬が地雷を踏んでな、吹っ飛んでしもて、乗ってる奴の股が裂けてしもてな、即死やね。地雷という奴はね、上に炸裂しよるから横の方は大丈夫やねん。僕らはちょうど横手におつたから、それで助かった。それでも破片が当たったらあかん。

△しかしいい時期に戻って来りましたね



地雷は上に向けて炸裂する

。いい時期に戻った。もっと長いこといたら、もうだめやったやろうね。

理由なく殴られる

△軍隊は辛かったですか

。初めはそら辛かった。殴り倒しよるしねえ。わしは眼鏡かけとるから、ビンタくらう時割れたらかなわんから、眼鏡外すでしょ、すると「生意気な！」て、足で踏んでバリバリつぶしちゃうからな。

△へえー!!

。それで見えへんから、家の方へ眼鏡送れ、眼鏡送れと何回手紙書いたかわかれへん。無茶苦茶ですよ。「奥歯かめ。眼鏡外せ！」て言うてくれたらありがたい。

△それはどういう時に殴られるんですか

。理由もルールも何もないですよ。よう殴られたなあ。三十ぐらいまでは殴られたの数えとつたけど、それからは記憶がのうなってしまう。

△口の中も切れて腫れ上がるでしょう

。変形”と言うんですよ。「変形くらわす」て。(笑)

「変形じゃ。そこへ並べ！」て言いよる。そりゃあ無茶苦茶ですよ。それも自分の手で殴ったら手が痛いから、手を使わんと上靴(スリッパ)、革ででけとるからこれでいきよる。

パチーン……。自分の上靴使わんとね、どつかれる者の上靴を使う。どつかれる者が、「殴ってください」て、自分で出すんですよ。

△あらあら……。▽

。自分の上靴でどつかれる。どつき終わったら、「手汚れたから、手洗う水汲んでこい！」。水汲みに行くでしょ、

「遅い！」言うて、せっかく汲んできた水をひっくりかえしよる。「もういっぺん汲んでこい！」。「遅い！」。三回も四回も水汲みやらされて、ようやく手洗でもろて、で、「ありがとうございました」て言わなならん。理由も何もない。無茶苦茶ですよ、軍隊いうところは。



理由がなくても殴られる……

反抗は重営倉

。僕ら身体が大きいし柔道やってたから、ちょっと歩き方がおかしいんですよ。それで「生意気や」となる。「歩き方が生意気や！」、そんなもんでもならへん。大きいからそのそしてるように見えるんやな。それだけでどつかれた。

△反抗したら？▽

。でけませんよ。いっぺん反抗した奴が重営倉くったな。
△どんな目にあうんですか▽

。板の上に正座させられるんや。それがまたきついんですよ。みだりに動くことができません。頭が搔きたかったかて、勝手に搔くわけにいかん。手を上げるんですよ。「何じゃ！」

「顔搔きたいので搔かして下さい」「何回じゃ！」「十回」「十回は多い。五回にしとけ」。で、一回、二回、三回……。五回、「終わり！」。(笑)どついたりしよらへんけど、閉じ込めてそういうことで酷い目にあわしよる。

△それで、自分が立場かわったら、やっちゃうんですか▽
。順番にそうなるから、やられてるからやっちゃう。軍隊ちゅうところは、統制上そうなっちゃうのかなあ。「上官の命令は朕の命令」やから……。

△フィリップンから帰ってくる時は嬉しかったでしょう▽
。どついた奴、日本へ帰ったら復しゅうしたらなあかんて

思てるけどね、ぜんぶ忘れてしまう。(笑) 辛かった事はぜんぶ忘れてしまいますね。

ニユース映画に登場

△十七年いうたら、まだ日本がそんなに負けてなかった頃ですね▽

○そうそう。十七年は、バターン、コレヒドールで大勝して、マッカーサーがオーストラリアに逃げた頃やから、僕ら帰ってきたら映画館でニユースやっとな、僕がスクリーンいっぱい出てくるんですよ。

△へえー▽

○そういう画面が二つあった。「おー!!」と思って……。(笑)

逃亡しても……

△軍隊というところは、常識で考えられないような暴力的な秩序が支配してみたいですけど、それに耐えられなかった人もいるでしょうねえ▽

○逃亡を図る奴がおったな。しかし逃亡して中国人に化けても、すぐわかりよるしな。あいつちよっとおかしいなと思ったら、大声で「気をつけー!!」て言ったら、いっぺんに気をつけしよる。(笑)

△ああ、それで見つかったら、情けないなあ▽

○そりゃ徹底してる。

△反射神経になっちゃってるんやなあ。まさにそこから逃げようと思ったのに。情けないなあ▽

・狂い死にした人もあるんですよねえ。

○戦時中は、不具者とか障害者おったら恥やというので、隠して隠してやってましたなあ。

疑問は口に出せなかった

△それで帰ってきて、やっぱり日本は勝つと信じてました?▽

○そりゃ、神国日本でね、負けるというような事は誰も考えなかった。

・いないと言うよりも、考えてる人はあったんでしょうけど、言えなかったと思いますね。

△言ったらすぐ警察や憲兵にしょっ引かれたり……▽

・そうです。だから言われしまへん。

△考えることをみんなが避けて、そう思わないようにするんでしようね▽

・考えたってしかたがないしねえ。私らかて竹槍訓練で突く訓練受けたけど、こんなん、敵の兵隊が上陸してきて、太刀打ちできるはずないと、心の底では思っていましたよ。で

も、口に出してそんな言われしません。とにかくやらない
かんのやと、ただそれだけで……。自分の心の底から湧き起
こってくる疑問を、ぜんぶ押さえつけてたんですねん。しか
たがないって。

△兵隊が鉄砲持ってて負けてるのにね▽

・女や年寄りが竹槍でね、こんなもん突けるはずないでし
よ。常識で考えてもわかるけれども、させられた。

○。「一億玉砕」ちゅう精神を植えつけられとった。

(続く)

牧野井のぼる

北牧一雄さん75歳・馨さん70歳(養父丘在住)

△その3▽

1993. 1. 1号

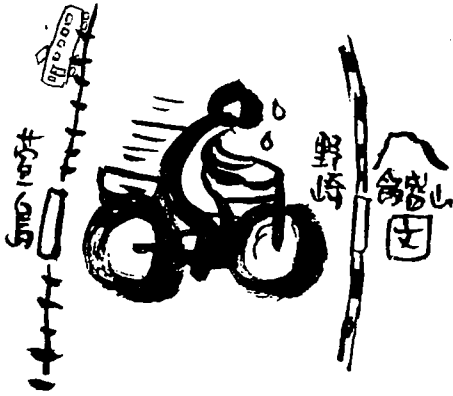
青年学校に戻る

△戦争から帰ってきてからの事をもう少し聞かせて下さい▽
。復職したのは大東市の四条の青年学校。その時に僕は文
句言ったんだよ。「戦争で長い間苦労して帰ってきたのに、
これが遇する道か。俺が北河内のいちばん北の端に住んどる
のに、南の端へ就職させるとはどういうこっちゃ」言うて文
句言ったことあった。(笑)「それなら俺は辞めて百姓やる」
……。そしたらその時の視学が、「ちょっと待ってくれ。そ
れはもつともだ。四条の校長が、次に誰か一人有資格者が戦
争から帰ってきたら、必ずうちへ回してくれ、と日参しとつ
たとこへ、ちょうど君が帰ってきてくれたんだ。ぜひひとつ
頼む。三月でもひと月でもいい」……。というような話ですわ。
僕は戦争行く前月給五十円だったんだが、辞令見たら今度は
七十五円になっとった。こらまあ頑張りよったなあ、人生意

気に感じて、「やってみましょう」と言った。

こっちは軍隊帰りだから張りきったからねえ、ビシビシ生徒を張り倒したけどな。(笑)

そういうことで、いちばん遠いわしがいちばん朝早く行き、帰りもいちばん遅いというのを校長が気の毒がったのか、あくる年の三月に枚方へかえてくれた。ところがわしは四条がだんだん面白くなってきて、よし、ここで腰を据えてやってみようと考えとったから、また校長に、「わしに無断で勝手にそんな事をやってもらったら困る。薄情やないか」言うたんだが、「往復の時間のロスが気の毒だから、その分地元で頑張ってくれ」ということで、枚方へ帰ってきた。



かやしま
牧野から京阪電車で萱島に出て
自転車で、大東の四条まで通った……

△大東までどないして通ってました？▽

。萱島かやしまに自転車置いてあった。京阪降りて自転車で大東まで通った。帰りは楽なんだ。萱島は下りだから。行く時は上りだからしんどいんや。雨の時はかなわなんだなあ。

ラッシュは戦前も

・それは昭和十七八年ですね。私は十九年八月からこっちに来て香里園の寝屋川北小学校に通ってましたけど、その頃でも電車は一輛でしたよ。急行だけ二輛で。その一輛に牧野から二、三十人の人が乗るだけなの。朝は。それでもギユウギユウ押されて香里園で降りられなくて、寝屋川で降りて寝屋川から走って(笑)学校まで行ったこともあるし、いっぺん、とうとう京橋まで降りられなくて「うわあ！▽、京橋で無理に降りたらバッグの木のっ手がとれてしまてね。(笑)入ってくる人の方が力強いから出られませぬ。(笑)

△昔も今もいっしょやねえ！▽

・それから、枚方で空襲警報が発令されて、みんな降りて、プラットホームの下空洞になるところに避難したこともありましたよ。

進駐軍が来る！

△さて、日本が負けて進駐軍が入ってくると、大変だった

でしょう。

・ どうしたらええかわからんようになりました。

。 ああ、あの時は本当にどうしたらいいかわからなかった。

・ 女子医専（関西医大）に私の女学校の先輩が入ってはったんですよ。寄宿舎に。その人が、敗戦になったという時に、荷物をうちに預けに来はりました。とにかくここにいったら危ない、進駐軍が来たら女ばっかしの寄宿舎でしょう、女はもうつかまえられるから、山の中へでも逃げなあかん言うてね、すぐ家へ帰ったはります。それで荷物預かりましてん。

△ 男は殺されて女は凌辱されると宣伝されましたものね。

・ そうなんですわ。怖かったですねえ。

△ 今から考えたら笑い話ですけど、その頃は本気ですよね。

・ 本気です。そしてどんどんどん進駐軍が入ってくるでしょ、どないなるんやろなあ、私ら倉の二階にでも隠れよかなあ思たりね。

△ 枚方にも来ました？

・ 枚方は来ませんでしたけど。やっぱり満州に来たソ連の兵隊が無茶苦茶したとか聞いてますしね、それを知ってるから、やっぱり何をされるかわからんと、本当に思ってたよ。しばらくしたら、どんどん進駐軍入ってきて、どうもなかったなあ……となりましたけど。

△ いっぺん戦地から帰ってきてても、再召集でとられた人も

多いですよ。先生になりはったのがよかったですよ。かねえ。

。 昭和十五年から青年学校が義務制になったからねえ。それで二回目の召集がなかったかなあと思ったり。

枚方青年学校

。 昭和十八年に枚方の青年学校に転勤した後、グライダーの訓練に行ったことがあるんですよ。

△ 枚方の青年学校で、どこにありました？

。 渚のねえ、この辺や。（地図を指す）

△ 今は普通の住宅になってます？

。 ああ。この裏に黒田川が流れとる。

△ 渚元町の三番地ぐらいですな。

。 殿山第一小学校が昭和十四年に火薬庫の爆発で焼けたんや。それで渚に仮校舎作って、殿一が完成して移ったその後枚方青年学校になって、七ヶ町村の生徒を受け入れた。

△ 青年学校は何歳から？

。 小学校六年生を卒業して入る者は青年学校の普通科に入るわけや。で、普通科は二年で、それから本科五年行くわけや。高等科卒業した者はそのまま本科五年行くわけや。それから研究科二年もあったけど、それは行っても行かなくてよかった。

△研究科まで行ったら今の高校卒業ぐらい？▽

。もう一年上や。

△今はなくなったから、どうもピンときませんね▽

。あれは新制中学校ができた時（昭和二十二年）になくなった。

グライダーの訓練

△では、グライダーの話に戻ります。どういう事情だったんですか▽

。学校から一名、グライダーの訓練に派遣せよときたわけだ。誰も行かないから、「お前若いから行け」「よっしゃ」というわけで、僕が行ったんや。田辺の南の玉水（井出町）というところや。厳しかったなあ。

△泊り込みですか▽

。小学校で泊り込みや。十二月三十一日まで。

△どれぐらいの間？▽

。二十日間。

△じゃ、昭和十八年の十二月に行ったんですか▽

。うん。

△教えたのは？▽

。小学校の教師で、滑空士かきうしの資格持ってる奴や。二人おった。

△訓練の場所は？▽

。木津川の河原。小学校を出て、右、左、右、左と手足を振り上げて、「月月火水木金」と軍歌うたいながら……。

（笑）

やっぱり乗りたい

△グライダーは何機ありました？▽

。一つしかなかったと思う。

△何人ぐらい一緒だったんですか▽

。三十人ぐらい。

△車か何かで引っ張るんですか▽

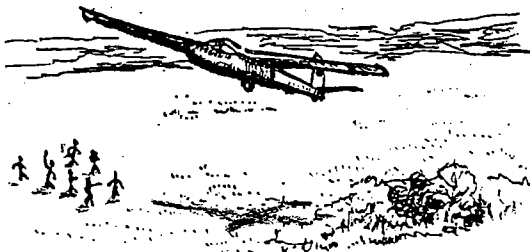
。セカンダリーからはそうしてたね。プライマリーは人が引くんですよ。三十人いたら、五人ずつ二列になって引っ張るんですよ。

△ほう、歩いて？▽

。歩く。

△それで飛びますか▽

。引っ張ってる時は飛ばない。引っ張り終わったら飛ぶ。



・ 凧上げみたいなもんでしょう？

。最初はグライダーはじっとしてるんですよ。その間ゴムが伸びてる。ある時点になったら……

△ゴム!? ゴムですか。なるほど、それでわかりました。

それで乗るのは順番ですか▽

。そうそう。

△乗りたいですか▽

。乗りたい。

△墜落せんかったですか▽

。僕はしなかったなあ。だけど墜落して、機体がバラバラになって骨折した奴はいる。死んだ人はいない。

・ いや、私の里のお隣の人、私より一級下の男の子ね、グライダーに乗って、綱が切れたかどうか知らんけど落ちて死なはった。だから戦死ではない……。

。キリモミ状態になる。ハンドルを急に引っ張ると急に上昇しよるからね、すると落ちよる。そやなくてじいーっと引っ張っていったら上がっていく。その加減がむつかしい。

△むつかしい……て、うまいこといかなかったらえらいことやないですか。しかし、危ないけど乗りたいですか▽

。そら乗りたい。空飛ぶちゅうのは感じがええもんやなあ。

△それで、セカンドリーになったら？▽

。自動車牽引、ソアラーになると飛行機牽引。

△それはすごい。そんなんは玉水ではできひんでしょ▽

。生駒でやる。自動車牽引も玉水やなくて、東大阪の盾津。それよりも、僕は炭鉱へ行った印象がいちばんきついなあ。

(続く)

《こ・と・ば》

グライダーには、第一種〜第三種がある。

第一種と第二種を「ソアラー」と呼び、第三種のうち中級用のものを「セカンドリー」、初級用のものを「プライマリー」と呼ぶ。

「ソアラー」は SOARER で、「高く飛翔するもの」といった意味である。

牧野井田さん

北牧一雄さん75歳・馨さん70歳（養父丘在住）

△その4▽

1993. 2. 1号

炭鉱へ勤勞奉仕

△炭鉱に行ったというのはいつなんでしょうか▽

。これも十八年。十八年の秋や。グライダーの前。

△徴用ですか▽

。勤勞奉仕や。勤勞奉仕でね、行く人間を役場の經濟課が探しとったんですわ。その時の經濟課長が小野頼三郎さん、後で市議員になりよった。で、課長代理が藤原作一さん。後に助役になりよった。この二人が担当で枚方から十名、津田・交野からそれぞれ五名、計二十名、青年の勤勞奉仕隊を募ることになったんや。

みな兵隊に行つとるからね、家におる者はそんなにおらんや。ようやく人数を揃えよったところが、「炭鉱やなんて、うちの息子はそんな危ないとこへはようやりまへん」て言われる。召集よつたらしようないけれども、勤勞奉仕やっ

たら断ろう思たら断れるわけやからね。そしたら「青年学校の先生がついて行くならやります」と、条件がついてきよった。それで、「先生誰か行つてくれ」ちゅう話になったわけや。

そんなもん、誰も行きよらへん。初めは珍しいから、Kさんが行くことになったんかなあ、行きよったんや。大丈夫かいなあと思とつたら、二日か三日ぐらいで悲鳴上げて帰つてきよった。それで、団員の一名も急性の盲腸になつたとかで、それを理由にして連れて帰つてきよった。

次は校長や。「わし、せんぶはよう行かんけど、しばらくやったら行つてくる」言うて、これも一日か二日で買物して帰つてきよった。向こうはこの辺にないような物を売つてるんですよ。それで買物に行つたようなかっこうで帰つてきよった。後はもうしょうないから、「僕が行く」言うて、最後まで行つた。

カンテラ下げて

△場所はどこだったんですか▽

。長崎県北松浦郡の調川村。中島炭鉱いうてね、ちやちな炭鉱ですわ。三池よつたら人が昇り降りするのも昇降機があるけれども、そこは木で作つた階段や。五百米ぐらいも歩いたかなあ。その階段を鶴嘴持つて入つて行くんや。上がつて



たんや。

穴だけれども、あそこは「穴」という言葉はタブーやった。
「ヤマ」と言う。ヤマへ入る。だから、僕ら班長は先頭に入るもんで、先ヤマ」と言うてた。

中へ入って行くと、蜘蛛の巣のように分れてますわ。それで掘りっ放しやったら崩れるからね、ちゃんと杵を専門家が作るんですよ。僕らは掘るだけ。掘るのはいいんだが、なかなかトロッコが回ってきやへん。

腹が減って腹が減って……

。十二時間労働で二交代、粉塵はもうもう。それで飯は、朝が并鉢すりきり一杯やからねえ。食べた気がせん。それで昼の弁当があるんだけど、弁当も皆朝に食べてしまiyor。そしたら弁当がないわけや。それで俺の弁当を配給してやったりもした。

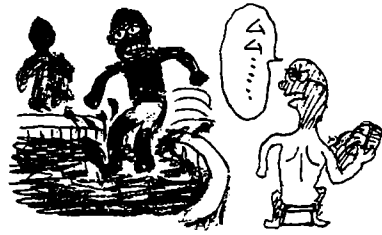
仕事はいくらでもするけれども、腹減っても飯食えないのがいちばん辛かったね。で、日曜は休みだったから、日曜日になると伊万里まで列車に乗って飯を食いに行った。僕らが行っていた調川村は長崎県で、長崎県は消費県で飯の自由販売がない。隣の佐賀県は生産県だから自由販売がある。そこへ行って腹一杯飯を食ってくるのが楽しみなんや。(笑) かし食いだめはできへんわ。いっぺん食うて出したらしまいや。(笑)

それが楽しみで、一週間また頑張るかいて。夜勤と昼勤は一週間交代や。今週朝六時にヤマへ入って夕方六時に上がってきたら、来週は夕方六時にヤマへ入って朝の六時に出てくる。どっちにしたかて、十月、十一月やからねえ、太陽を見ることないわけですよ。日曜日飯食いに行く時は太陽あるけど、それ以外は寝ないかんしね。太陽を拝むことはなかった。

墨汁のような風呂

。我々は勤勞奉仕だから、上も下もちゃんと作業衣が支給されたけど、前からいる人は上半身裸ですよ。刺青入れたよいうな奴ばかりや。昔から、炭鉱に逃げ込んだら絶対大丈夫やという事で犯罪者が多いのと、落盤で怪我するというので、皆怖がったんやな。そういう連中はかなわんですよ。上

かかり湯もせずに……



らわからへん。激しい所でしたなあ。あれで二カ月行つた。あの十二時間労働には参つたなあ。

怪我した生徒も

△先生やから付き添いいうことで行つたんでしょ？
。同じですよ。おんなじや、行つたら。

それでね、石炭の層が薄くて、岩盤にぶつかるんですよ。そうするとダイナマイトで爆破せなあかん。それは専門家がいて、火をつけたら僕らさがるんですよ。そしたらドカン!! カンテラの灯もぜんぶ消えてしまう。真っ暗や。また灯つけて、また掘りだす。

三池なんかは層が厚いから立って掘るけど、僕らが行つた

へ上がってくると、風呂は皆一

緒ですよ。ところが我々は身体はそんなに汚れてない。顔と手ぐらゐは汚れてるけど、それでもかかり湯ぐらゐはする。しかしそういう奴は身体中真っ黒で、かかり湯もなしにそのままドボンと入りよるもんやから、僕らが入る時は墨汁の中に入るようなんもんや。(笑)風呂やら何や

所は層が薄いから穴の高さも低くて座ってやらんとでけへん。かがんだ姿勢で掘つたやつをすくうてコンベアーまで持つて行く。

△鼻の穴真っ黒でしょう▽

。石炭粉で真っ黒や。

△だいぶ肺にも入つてる？▽

。入つてるでしょう。空気も悪いしねえ。

△二カ月で堪能しました？▽

。一週間でも堪能してる。(笑)

。それで、連れて行つた青年学校の生徒は初めからしまいまでおつたんでしょう？

。怪我した奴もおつたなあ。それからねえ、そんな状態で家へ帰つてもね、腹一杯飯食つたとたんにあくる日死んだ奴もいた。

△うわあ、ひどい……▽

教育方針の転換

△さて、敗戦直後の学校はどんな状態でした？▽

。何もなかったなあ。紙ももちろんないしねえ、チョークでもかけらになるまで使つて。

敗戦で、本当に惨めなもんやったねえ。それに進駐軍が横暴の限りをつくしよつたからねえ。それに対する反発もあつ

た。それとやっぱり、戦争に対する憤り、反戦平和の考え方が強くあった。だから「教え子を再び戦場に送るな」というスローガンを組合でつくったわけや。

・あの頃は混乱しましたねえ。ノートも紙もなかったし、ぜんぶ配給制やったから。

△教え方なんか、どう変わりました？▽

・朝礼でも、前は一年二年で並んでたでしょう、それがあかんことになったんですよ。音楽に合わせて勝手にうわーっと集まってくる……。

△へえー▽

・整列したらあかんのね。軍国主義は敵やから……。話もね、今までの訓話的なんと違う話して、それぞれバーと分れていって教室に入る。並んで歩くとか「前にならえ」はあかんわけね。本当に混乱しましたねえ。自分たちがやってたんはみんな間違ってたんかなあって。

・それは僕らの同期でもねえ、敗戦と同時に教師をやめた奴が半分はおる。

給料では食えなかった

△あの頃先生の給料だけでは食べていけなかったでしょう？▽

・食べていけなかったですよ。夫婦二人共勤めてやっと食

べられたので、一人だけだったら、絶対食べられなかったですよ。それでやめて商売したりね、酒屋になったり洋服屋になったり、いろいろ……。あの頃、私の一カ月の給料で、一升のお米が買えなかったですよ、闇米が。一升が三百円したの覚えてますわ。配給はもっと安いけど、量が限られていますわねえ。

△とんでもないですねえ！▽

・この辺の農家はみんなお米を作ってるから、すごく闇米で豊かでしたけど、私のは主人の弟妹も教師ばかりでお米作ってなかったからね。

△この家見たら、こんな大きな家だったら相当田畑あったん違うかなあと思ったけど▽（笑）

・うち以外はぜんぶ建て直しはったけど、うちだけは昔のままですわ。（笑）

妻の退職金で選挙

・二代前に米相場で損をしてるんや。それですっからかんになってしもた。田畑を抵当に置いて金借りて。

△へえー、そうですか！市長選挙とか金かかるのに、土地でももってやるんやろうと思ってましたけど。（笑）大変だったでしょ▽

・私の退職金をこっちに出して……。 （笑）

。最初は家内の退職金で選挙やって……

・それは給料を一生懸命私が貯めて……。私の年金で生活してましたよ。(笑) ぎりぎりの生活でした。

。わしの退職金も少なかつたからな。

△えっ、どうしてですか▽

。途中でやめてるから。校長を十六年やった、その分だけだ。

・教育委員になった時やめて、それ以前の退職金を僅かな額だけどいっぺんもらったので少なかった。私の方が多かつたです。

△あ、そうか！ 教育委員が公選制になった時、選挙があつて教育委員をしてはりましたねえ▽

・はい、その時に。

。その時、勤続十四年でいったんやめたんや。

・その時にもらってますでしょ、だからその後の分だけだから短かいんですよ。

△なるほど！▽

。あれも十五年働いてたら恩給がついたんですよ。十四年勤めて、その時退職金が十九万かな。それから教育委員、教育長やって、また学校に戻った……。

△それはそれは、御苦労さんでした▽ (笑)

・お金に縁のない一生でしたわ、私も。(笑)

。人間、金を握って死ねるわけやなし。(笑)

・貧乏ぐらしは、私は何とも思ってますし、ぜいたくはようしません。

。人間らしい生活してたら、それでええやないか。

兄弟が校長

△弟さんも戦争へ行かれたんですね▽

。弟は朝鮮だった。

・京城(ソウル)でしたね。

。三十八度線の南でしたからね。朝鮮へ行って少尉になって、間もなく八月十五日がきて、しばらくしてここへ戻ってきました。それから新制中学に戻って、最後は四中の校長で現職で亡くなりましたけど。

△あ、そうでしたか▽

・はい、十一年前に。

△兄弟とも四中の校長先生したはるんですね▽

。そう。(笑)

△ずらつと歴代の校長先生の写真が並んでる中に兄弟が……▽

。いつも俺の後ばかり行かなあかんいうて、ぶつぶつ言ううとつた。(笑) 三中、一中、四中、中宮中とか、枚方中学も……。 (笑) それで来年定年いう時になって急に……。

△それはそれは……。どうも長時間ありがとうございました。どうぞ、身体をお大事に、ゆっくり療養してください。ヽ

(了)

